

【別紙様式 3】

再評価実施事業調書

番 号	3	事 業 名	道 路 事 業			路 線 又 は 箇 所 名 等			一般国道 4 0 9 号 茂原一宮道路		
事 業 所 管 課			道 路 整 備 課			事 業 主 体			千葉県		
事業化年度	平成 12 年度		用地着手年度	平成 13 年度		工事着手年度 工事終了(認可)年度	平成 14 年度 令和 13 年度		再評価の理由		再々々評価
費用便益比 B / C	1. 2 (5. 5)	総費用	298 億円 (43 億円)		総便益	357 億円 (238 億円)		基準年	令和 7 年度	供用開始 年度	令和 14 年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

茂原一宮道路（長生グリーンライン）は、高規格道路「茂原・一宮・大原道路」を構成しており、「館山鴨川道路」や「鴨川大原道路」とともに、房総半島外房地域の観光拠点等の連絡性・周遊性を強化するため、さらには、観光・物流などの産業活動を支援する道路として、外房地域の骨格的な役割を果たす道路である。

本事業の茂原一宮道路は、圏央道の茂原長南 I C と接続する長南町千田から茂原市三ヶ谷に至る約 7.2km を整備区間としている。平成 2 5 年の圏央道の開通にあわせ、一般国道 4 0 9 号の千田交差点から茂原長南 I C まで約 0.7 k m、令和 2 年に茂原長南 I C から長南町坂本の町道利根里線まで約 1.5 k m、令和 6 年 3 月に町道利根里線から茂原市台田の県道茂原大多喜線まで約 2.5 k m の供用を開始しており、現在、残る市道 1-10 号線（広域農道）までの約 2.5 k m の区間の整備を進めている。さらに令和 5 年度には、広域農道から県道南総一宮線間をⅡ期区間として事業化されたところである。

- ・総事業費：2 1 5 . 1 億円
- ・事業延長：L = 7 . 2 k m

【事業の進捗状況】（令和 7 年度末見込み）

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	215.1	165.2	49.9	76.8

【社会経済情勢等】

- ・一般国道 4 0 9 号の現道では、R 3 道路交通センサスの混雑度が 1.2 を超える区間があり、一般国道 1 2 8 号、一般国道 4 0 9 号の旅行速度は千葉県の千葉県平均の 27.3km/h を下回る区間が散見される。また、現道の一般国道 1 2 8 号と一般国道 4 0 9 号が交差する（仮称）昭和橋北交差点が主要渋滞箇所に特定されている。
- ・一般国道 1 2 8 号、一般国道 4 0 9 号の R1 ~ R4 の死傷事故率は、千葉県平均の 41.0 件/億台キロを上回る区間が見受けられる。また、現道区間の事故類型をみると、渋滞が要因の一つである追突事故の割合が約 5 割を占め、千葉県的一般道平均よりも約 1 割高い。

【対応方針（案）】

継 続

費用便益比(B/C)は事業全体が 1.2、残事業費が 5.5 であることから、費用対効果が見込まれる。長生地域における整備効果として、救急医療活動の支援の強化、緊急輸送道路ネットワークの強化、防災機能の強化のほか、交通の転換による渋滞緩和及び走行時間短縮、交通事故の減少などが期待される。事業を継続し、効果の早期発現を目指す。

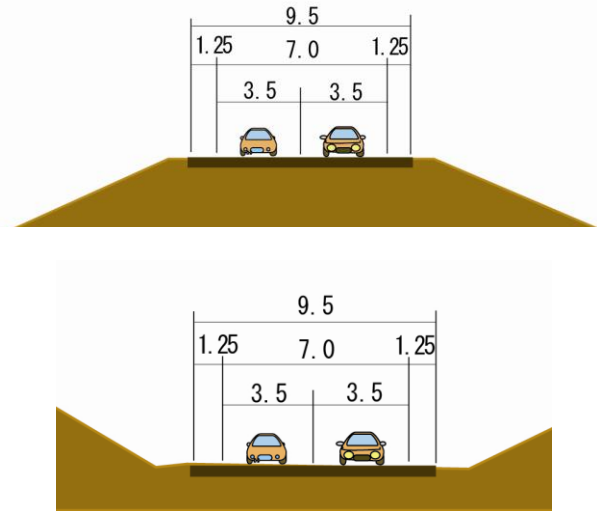
事業概要図

番号	3	事業名	国道道路改築	路線又は箇所名等	一般国道409号 茂原一宮道路
----	---	-----	--------	----------	--------------------

位置図



標準横断面図



平面図



再々評価事業に関する調書

番 号	3	事 業 名	国道道路改築事業		路線又は箇所名等	一般国道 4 0 9 号 茂原一宮道路	
事 業 化 年 度	平成 12 年度	用地着手年度	平成 13 年度	工事着手年度	平成 14 年度		
【再々評価の概要】							
再評価実施年度 (基準年)	令和 4 年度	供用開始年度	令和 9 年度	対応方針	継続		
B / C	1. 4 (5. 5)	総費用	225 億円 (36 億円)	総便益	311 億円 (197 億円)		
※上段：全体事業 下段（ ）：残事業							
再々評価時の委員会の意見及び当時の状況 ・継続することが妥当である。							
再々評価時の進捗状況及び再評価時想定 の 5 年後の進捗状況							
	計 画	進捗状況 (R04 末見込み)		5 年後の想定進捗状況			
全体事業費	173. 2 億円	140. 3 億円 (81%)		173. 2 億円 (100%)			
用地取得面積	346, 655 m ²	300, 090 m ² (87%)		346, 655 m ² (100%)			
供用面積 (延長)	7. 2km	---		---			
【再々々評価 (R07 年度) の概要】							
再評価実施年度 (基準年)	令和 7 年度	供用開始年度	令和 13 年度	対応方針	継続		
B / C	1. 2 (5. 5)	総費用	298 億円 (43 億円)	総便益	357 億円 (238 億円)		
※上段：全体事業 下段（ ）：残事業							
現在の進捗状況							
	計 画	進捗状況 (令和 7 年度末)					
全体事業費	215. 1 億円	165. 2 億円 (77%)					
用地取得面積	369, 481 m ²	343, 948 m ² (93%)					
供用面積 (延長)	7. 2km	---					
再評価後の経過 及び 処理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 7 年度 再々々評価 (継続が妥当である) ・ 引き続き、事業の早期完了を目指す 						